

# 紫朋

## SHIHOU

Vol.46 平成13年4月

発行  
横浜市立金沢高等学校  
同窓会「紫朋会」

### 会長挨拶



第十四期卒  
(昭和四十一年卒)  
佐藤 邦彦

紫朋会々員各位におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日ごろは当会に対し、ご支援、ご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、いよいよ二十一世紀がスタートしたわけですが、国内外の政治、経済は相変わらず混沌としており、その出口がなかなか見つからない状況が続いております。なかでも昨年は、「17歳」の事件が新聞紙上を賑わし、教育現場からの悲痛な叫びも多く聞かれました。

しかし、スポーツ界ではシドニーオリンピックの日本女子選手の活躍が目立ちましたし、我が金沢高校野球部の県ベスト8は私たち卒業生としては、大変喜ばしいものでした。特に、延長再試合で勝ち進んでいったときは私自身何事もやればできるんだという、何か勇気をもらえた気持ちになりました。

また、二〇〇一年は金沢高校にとっては大変特別な年でもあります。それは、創立五〇周年「を迎え、半世紀のときを刻む歴史的瞬間でもあります。多くの卒業生を世に送り出

し、その数も一八〇〇〇人を超え、「紫朋会」も大世帯の規模となつてまいりました。多数の卒業生がさまざまな分野で活躍されていることは皆様もご存知のところでありませう。

そこで、本年はその節目の年にふさわしいさまざまなイベントを計画しております。メインイベントとして、本年十二月八日(土)には「桜木町みなとみらい地区」で、「記念式典および記念演奏会」と、「記念祝賀会」を予定しております。なかでも、「記念演奏会」は現役諸君と一緒に、「ベートーベン作曲交響曲第九番 合唱」をドイツ語で歌うため、今年の1月から練習会も実施されています。そして、「祝賀会」は今年八月竣工予定の「パシフィック横浜・展示ホール アネックス」で盛大に開催すべく、実行委員会でも企画に準備に張り切っております。

一方、「冠行事」として、秋の「金高祭」(9/29、30)には紫朋会ルームで「企画展」を計画、後援事業として「金沢落語会」(10/13)を開催します。

なお、右記のイベント・行事を遂行するためには、多くの方々のアイデアおよびご協力をいただくことが不可欠です。自薦、他薦問いませんのでなにとぞ、よろしくお願い申し上げます。

最後に、各方面でご活躍されている卒業生の皆様、また現役諸君とご家族、教職員の方々のますますのご健康とご発展を祈念申し上げます。

### 学校長挨拶



学校長  
常木 己喜雄

鎌倉幕府の名執権といわれた北条時頼、時宗親子を補佐した当代の知恵もの実時が、NHKの大河ドラマを引き締めています。実時を継いだ頼朝、孫の貞頼の三代にわたる金沢北条氏の築いた「称名寺」、そして「金沢文庫」が注目されるのも当然のところ。しばらくの間は、鎌倉から朝比奈の切り通しを経ての六浦荘村を始めこの地域一帯にまで、全国の関心が向けられるでしょう。先般、金沢区制五十周年記念事業実行委員会が発行した「かなざわの歴史」は、その辺りの情報にも詳しい貴重な実史資料です。以降近年までの歴史をたどりながら、「瀬戸神社」や「瀬戸橋」の隣り合わせのこの地も、時代の動きを肌身に感じながらきたのだらうと、思いはさまざまに廻ります。横浜市の中でも最も奥深い歴史を秘めた金沢、山あり川あり海あり、交通の便あり。学校は五十年を経て相応の評価をいただき、二つの大学を真近にしています。激動の時代に、恵まれた条件がそろっているといえるのかも知れません。

変化が常態であるといわれる社会情勢のなか、教育の分野も激震の連続で、胎動のうねりは本校にも確実に押し寄せています。少子化に伴う学校規模縮小、単位制普通科高校への転出、あらゆる分野での情報化、そしてまた学校の特色づくりを進める予算配当などなど、従前からの手法の踏襲だけでは、どうにも対応しきれない大波の襲来です。本校に赴任以来、教職員全体で情報を共有し、組織・予算の見直し、そして何よりも教師集団の意識の改革に努めてまいりました。何を残し何を変革すべきかの議論は今後も続きま

す。たゆまざる努力を重ねて、次代をしっかりと背負える若者たちの育成のために、本校の担うべき役割を明確にしていかなければなりません。このような課題の山積する時代に、誠にありがたいことですが、紫朋会をはじめPTA、後援会の皆様方の絶大なご理解ご支援をいただいております。本年十二月には創立五〇周年記念式典などを挙行いたしますが、この機に、関係者各位の力を結集して金沢高校の一層の充実に邁進する所存ですので、どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。

### 平成十三年度

#### 紫朋会総会のお知らせ

日時 平成十三年五月二十七日(日)

会場 横浜市立金沢高校

第一部 午後一時から

講演会 視聴覚教室(階段教室)

演題 「落語のことなど」

講師 柳家小満ん師(八期卒)

第二部 午後二時から

総会 視聴覚教室(階段教室)

議題 平成十二年度 事業報告

平成十二年度 決算報告

平成十三年度 事業計画

平成十三年度 予算案

創立五〇周年

記念事業について

その他

第三部 午後三時から

懇親会 食堂

会費 二,〇〇〇円

(平成十三年三月卒業生は無料)

《講師 柳家小満ん師について》

(本名・栗原 理)

金沢高校八期(昭和三十五年)卒業

四組 清田級

詳しくは五ページ参照

平成十二年度

### 事業活動報告

#### 常任幹事会

常任幹事会は、紫朋会の総会で決定・承認された各種行事の運営計画を検討・実施する機関で、各期各クラスの卒業生の代表、常任幹事で構成されています。現在、常任幹事会は毎年三回開かれており、平成十二年度は以下の通り開催しましたのでご報告します。

#### 【第一回】

四月八日(土) 於・金高会議室

議題 十二年度総会について

十一年度決算について

十二年度事業計画について

十二年度予算案について

新人幹事紹介

会報『紫朋』45号最終確認

\* 幹事会終了後、新人幹事の歓迎会を実施

#### 【第二回】

九月十日(土) 於・金高会議室

議題 金高祭参画について

会報『紫朋』46号発行について

紫朋会ホームページ制作について

五〇周年記念事業準備作業の経過について

その他(寄付状況報告ほか)

#### 【第三回】

一月二十八日(日) 於・金高会議室

(第四回金高五〇周年紫朋会実行委員会と合わせて開催)

議題 会報『紫朋』46号進行状況報告

五〇周年記念事業準備状況報告

平成十三年度紫朋会総会について

常任幹事会は紫朋会の運営には不可欠な重要な活動です。今年度の幹事会の開催予定は別掲の通りです。金高の創立五〇周年事業もいよいよ今年が本番であり、様々な業務を

施しなければならず、会員の皆さんのサポートが必要です。クラス代表が否かにかかわらず積極的な参加をお待ちしています。

#### 平成十二年度 総会

毎年五月の最終日曜日に総会を開催しています。十二年度は、二〇〇〇年五月二十八日に開催しました。会場は、視聴覚室を使わせていただきました。総会には、毎年、会員である講師をお招きしています。今回は、野鳥の研究では世界的に有名な樋口広芳氏(十四期8組)をお招きしました。現在は、東京大学で教鞭をとられています。当日は、担任だった田原先生をはじめ十四期の会員も多く出席されていました。ふだん、滅多に聞くことができない口マンあふれるお話に感動した方々からは積極的に質問があり、時間があればもつともつとお話を聞きたかつたほどです。私事ですが、私が勤務する職場では、樋口博士と一緒に野鳥の研究をしていた者があります。また、保護者の中に、女学生のときにボランティアで樋口先生と活動を共にしたという方もおられて、人との関わり不思議さに驚かされています。

その後は、予定通り、決算報告ならびに十二年度の予算案の承認をいただき、さらに、母校創立五〇周年の諸行事に関する企画案についての報告がありました。この内容については、別途、記事が掲載されていますので割愛させていただきます。このあとに、恒例の母校への図書購入費補助を校長先生にお渡ししました。

続く懇親会も和やかにつつがなく進行し、十二年度のスタートをきることができました。

#### ハイキングの会

第十一回は六月十日(土)、神奈川県西端の大野山へ登りました。あいにくの曇天で期待した眺めが得られず、また山頂付近の牧場の牛もまだ放牧されておらず残念なところもありました。しかし二十名の参加者の中には

四十一期の人や、また元PTAの方三名、元教員一名と変化に富んだ顔ぶれとなりました。にぎやかなおしゃべりのうちに道を間違えて遠回りしたりもしましたが全員無事に谷峨駅に下山しました。

第十二回は十一月十九日(日)、絶好のハイキング日和のもと、奥多摩の高水三山に登りました。四期から三十五期まで、またバドミントン仲間を引き連れての参加もあり、二十八名といういままでの最高の人数になりました。

清冽な空気とまっ青な空、まっ赤な紅葉と青々とした針葉樹林の中を一日歩き、町の中では得られない味わいを満喫しました。

#### 紫朋会「釣り大会」

昨年の十月十四日(土)、紫朋会「釣り大会」を金沢八景で開催すべく準備しましたが、参加申込者が少なかつたため、中止いたしました。

なお、今年度は金高の先生方や在学生の参加も得て別掲の通り十月十三日に開催する予定です。ぜひご参加下さい。勿論、女性も初心者も大歓迎です。

#### 金高祭

今年の金高祭では「屋台村」を催しました。通常、卒業アルバム展示とジューズ、クッキーの無料提供だけですが、今年はアルバム展示に加えOB、OGが経営するお店の商品を販売しました。価格は金高生でも気軽に買えるように小売価格よりも安く設定し、多くの人が商品を買うことができました。

この企画は大成功で、紫朋会の教室は金高生、OB、OGに加えPTAの方々で賑わいました。

なお、出典にご協力頂きましたお店は  
・ 菊月(和菓子)・・・大福、どら焼き、カフェオレ饅頭などを提供  
・ グリーンファーム(園芸)・・・球根、鉢植えの花などを提供  
・ つくし・・・スベアリーブ等提供

・ 梅林・・・キャラブキを提供  
・ ラファエル会(福祉)・・・クッキーを提供  
・ 三菱電機・・・つかみ取り用乾電池を提供  
・ リース教室・・・リースを提供  
です。来年度の文化祭でも、屋台村を催す予定です。どのお店が出店されるかは、紫朋会教室に来てからのお楽しみ。

#### リース教室

毎年恒例行事となりましたリース教室、今年も十二月九日、金高会議室にて実施されました。金高祭での積極的な宣伝活動の甲斐あって、今年は金高PTAの方々が多数参加され、大変賑やかなものとなりました。全十五名、クリスマス用と正月用、二手に分かれ、それぞれに先生の指導を仰ぎながら、皆さんあでもないこでもないという格闘しつつも、最後は満足のいくものが出来上がっていました。何かものを作る楽しさを、久し振りに体験することができました。

次は何を作ろうか、皆さんのアイデアをお待ちしています。

#### 社交ダンス講習会

今年度から紫朋会の事業として、ダンス講習会が開かれ、会員及びその関係者多数が参加して、楽しく社交ダンスを習っています。

十二期の本庄孝子さんを講師に、九月九日を第一回とし、月三回土曜日の午後七時から金沢高校



卓球室で開催しました。十二月二十二日には、能見台駅前のホールのクリスマスパーティーに参加するなど、楽しく活発な活動を続けています。今年に入ってからはいよいよタンゴに進み、みんな一所懸命練習に励んでいます。



# 学校便り

## 先生方の異動

昨年は、管理職（校長・副校長）の異動はありませんでしたが、社会科の野田康之先生と養護教諭の山田古子先生のお二人が「勇退」され、他に六名の教職員の方々が転任されました。転任先は左記の通りです。

氏名（教科） 着任年 転任先  
 小松原伴子（社会） 昭和62年 東高校  
 立野 睦治（数学） 昭和60年 南高校  
 平田 直美（家庭） 昭和60年 鶴見工業高校  
 木村 力（社会） 昭和61年 戸塚高校  
 今野 義久（国語） 昭和62年 桜丘高校  
 丸山 徹（事務） 平成12年 桜丘高校

氏名（教科） 前任校  
 松橋 吉明（国語） 桜丘高校  
 小林 正（社会） 戸塚高校

また、新しく七名の教職員の方々をお迎えし、二一世紀の幕開けの年をスタートしました。着任された方は次の通りです。

北田嘉代子（社会） 桜丘高校  
 木村 博樹（数学） 南高校  
 桃井 美保（家庭） 戸塚高校  
 田中 由美（養護教諭） 鶴見工業高校  
 高野 孝司（事務） 磯子保健所

また、今年三月には、数学科の森田先生がご都合により退職されました。

森田先生は平成十一年桜丘高校より本校に赴任されました。温厚な人柄で本校では特に福祉指導部でお世話になりました。先生には挨拶文をお願いいたしましたのでお読み下さい。

## 退職にあたって

数学科 森田 浩子

二年間という短い間でありましたが、この度退職いたしましたことになりました。定年までもう少し働き続けることが出来ましたが高年齢の母がいて、外出に人の助けが必要となりましたので、現在はお陰様で元気にしておりますが仕事に支障が出る前に思い切って退職しました。思い返してみますと十数年前に一年間、講師として勤めさせていただきましたことがありました。二年生を担当しましたが、授業中は水を打ったように真剣に勉強していました。質問も多く、受身ではない勉強の姿勢に感心して、いつか金沢高校で教えてみたいという気持ちを持ったことを思い出します。

私が教職を志した動機の一つは高校時代に出会った微分積分が面白くて、その後も数学から離れられなくなったことともう一つは教育実習のときに教えることの魅力を知ったことによりです。今日に至るまで、大学の研究所、中学校、定時制、全日制、職業科、普通科と異なる教育の場を経験し、その度に苦労もしましたが視野を広げること出来ました。二年前、思いがけず金高に着任してきましたが当時の数学科の先生方の多くは退職されました。転任されていきました。生徒の様子もどこかで大きく変わったと思いました。（当時は五分休めでロッカーと教室の間を教科書を抱

えて、サンダルで大移動する姿が印象的でした。）授業中は元気いっぱい生徒達で戸惑うことも有りましたが、やはり金高生は変わらなすにしっかりと勉強していると思えました。その他、生徒の福祉委員会活動に携わりましたが、生徒の発案で始めた通学路清掃がよい思い出です。

偶然、市大にも同じようなボランティア組織が出来たことで双方の交流が生まれそうです。市立高校は大きく変わる時期に差し掛かりましたが金高の持つ、ゆとりが有って人を大きく包み込むような魅力や伝統に残る自主性がしっかりと守られ、輝きを失うことのないよう願っております。お世話になり、また支えていただきました多くの方々に深く感謝し、お礼申し上げます。

## 金沢高校創立五〇周年

### 記念行事について

金沢高校創立五〇周年実行委員会 柳田 緑雄

いよいよ金沢高校創立五〇周年にあたる年となりました。二年間の準備委員会の活動を経て昨年四月創立五〇周年実行委員会が発足しました。PTA・紫朋会・後援会・旧教職員会等のご協力を得まして、具体的な活動が進展しております。特に紫朋会の実行委員会の皆様にはご配慮を戴き深く感謝いたしております。この紙面をお借りいたしました各記念行事の進捗状況を報告させていただきます。

### 記念誌

昨年四月より担当者による編集会議を重ね、「二一世紀に向けた記念誌にする」「金沢高校五〇年の歴史を編纂する」という基本方針により活動を進めております。旧教職員ボランティアの会の協力を得て、諸先輩の先生方や、卒業生の皆様に原稿を依頼し、三月には集約して四月より構成・編集に入ります。

### 記念演奏会

既にお知らせしてありますように、今年十二月八日（土）、横浜みなとみらい大ホールで行います。会場の制約上、記念式典の挨拶は数名の方に限らせていただき、その後記念演奏会となります。その内容・構成は、演奏会担当で現在検討中です。

また、一般募集した「第九合唱団」は二月十七日現在で二五九名の参加を得ました。卒業生は九十四名、保護者四十六名、卒業生の保護者三十二名、PTA合唱団四十四名等です。一月十三日より七名の指導者のもと練習を開始しました。

記念演奏会については、学校側が主となり企画しておりますが、当日は紫朋会の方々の席を若干用意させていただいております。演奏会への出席を希望される方は同封しました葉書（住所変更等の連絡をするために使用するもの）に必要事項を記入の上投函して下さい。なお、人数に制限があるため希望者が多い場合には調整させていただくこともあります。何卒ご了承ください。

校歌の編曲  
 「金沢高校校歌」は創立五〇周年を記念して作られました。今回、創立五〇周年記念事業の一つとして、校歌を混声四部合唱・プラスチックバンド用・オーケストラ用に編曲いたしました。編曲は、十六期卒業生の平野昭氏の奥様さゆり様にお願ひし、昨年完成しております。当日は編曲された校歌を披露いたします。

### 記念品

記念品は、校歌のCDです。昨年十二月にオーケストラ演奏を今年三月には混声四部合唱（一年生）・プラスチックバンド演奏を収録いたしました。ジャケットのデザインは在校生から募集することとなっております。

### 祝賀会

企画・運営については紫朋会をはじめPTAや後援会の方々にお願ひしています。詳細については紫朋会としての報告の中に書かれます。

現役生の活躍

ておりますのでご覧下さい。

運動部

弓道部

県民大会兼国体予選会

女子団体 優勝

男子個人 第五位(三年高橋 明賢)

女子個人 第二位(二年松本 藍)

女子個人 第三位(三年小柳 三奈)

春季大会兼関東大会県予選会

女子団体 第五位

男子団体 第四位(関東大会出場)

青少年武道錬成会

男子個人 敢闘賞(二年小島 史明)

全国高等学校通信弓道大会

女子部 第三位

安藤為次記念賞 激励賞

バトントウリング部

マーチングバンド・バトントウリング関東大会

銅賞

野球部

全国高等学校野球選手権大会神奈川大会

ベスト8

男子バドミントン部

関東大会横浜地区予選会 第四位

県高校総体 団体 ベスト8

女子バドミントン部

県高校総体 団体 ベスト8

県新人大会

個人シングルスベスト8(二年大陰 沙織)

個人ダブルスベスト8(二年大陰 沙織・

小野智子)

男子バレーボール部

横浜市内高校選手権大会 第三位

陸上競技部

県高校総体

男子800M 第八位(三年佐藤 大介)

横浜地区新人戦

男子槍投げ 第三位(二年恩田 祥史)

男子バスケットボール部

県新人大会 ベスト16

サッカー部

関東大会県予選会 第九位

文化部

吹奏楽部

神奈川県吹奏楽コンクール 県賞



GO WINNERS!

野沢 陽子

バトン部は金高にいながらまるでこたけ女子校のような、というよりここは動物園?と思うほどにぎやかで、それぞれの個性が強すぎるほどにあり、毎日部活は活気に溢れていた。部員の仲も良く、仲がよすぎる反面、練習がダレてしまうことも度々あったが、引退後も週一回、一緒にお昼を食べるほどの仲の良さだった。

三年間の間にいろいろないイベントや大会に出場してきたけれど、その中で一番大きな出来事といえば、やはり関東大会で銀賞をとったことだろう。金高はこのところ毎年のように県大会で上位の成績を収め、関東大会に出場するようになってきている。一つ上の先輩たちが県大会を一位で通過したので、私たちもそれを目標にがんばった。しかし関東大会への切符を手に入れたもの

の結果は二位。私たちは県大会で悔し涙を流すことになった。それから関東大会へ向けて、修学旅行中に朝練までして一生懸命練習した。その甲斐あって関東大会では銀賞を、しかも県大会で一位の座を奪われた学校の順位を上回ることができた。県大会での悔しさは喜びに変わり、この銀賞は私たちにとってさらに意味のあるものとなった。

大会で一曲踊るのはたった三、五分なのに、それまでには曲作りに始まり、踊り込みに至るまで数カ月間かかる。しかし苦労した分だけ踊っているときは最高に楽しい。出番直前の緊張感も、踊り終わった後の達成感も、あの会場の独特の雰囲気もバトン部でしか味わえないものだと思う。今となつては雪の日、寒い中での練習も、夏の炎天下でのつらい練習もすべてが思い出だ。こうしたいい思い出が残せたのも仲間のおかげだと思う。今は関東大会で銀賞をとれたことより何よりも、金高のバトン部でこの仲間と一緒に過ごせたことを幸せに思う。みんなありがとう!そして影で支えてくれたマネージャーさん、先生方、いつも私たちのわがままを聞いて下さって本当にありがとうございました。

図書館より

毎年生徒のために寄贈していただきありがとうございます。昨年度は以下の書籍を購入させていただきました。

- ・資料 環境問題
- ・世界文学館 全二十四巻
- ・古典文学館 全二十五巻
- ・日本の街路樹
- ・須賀敦子全集 全八巻
- ・文化経済学ライブラリー 全十巻

労務管理・労災保険・雇用保険  
健康保険・年金相談・給与計算

## 中村社労士事務所

社会保険労務士 中村由明(17期)  
〒235-0033 横浜市磯子区杉田1丁目11番29号  
TEL・FAX (045)773-3751

50周年記念金沢落語会の前売券を8月上旬から販売いたします。お近くのOB会員、「水車」又は当事務所にてお買い求め下さい。  
尚、金高祭にて販売する前売券の予約を当事務所メールアドレスczm06405@nifty.ne.jp又は上記電話にて承ります。(社会保険労務士業務のご依頼大歓迎)

おおきな木のそばの そばや

# 水車

16期 高野研一

TEL 045(782)5416

住所 横浜市金沢区釜利谷東4-7-19

営業時間 午前11時～午後3時

定休日 水・木 連休

### 講演者の紹介(一ページより) 「柳家小満ん師」

昭和十七年、横浜生まれ。高校卒業と同時に、国立東京農工大学繊維工学部に入學するが、八代目桂文楽に魅せられて大学を中退し、内弟子となり(三十六年)、桂小勇となる。昭和四十年、二ツ目昇進。昭和四十六年、桂文楽逝去。五代目柳家小さん門下へ。昭和四十八年、NHK新人落語コンクール最優秀賞受賞。昭和五十一年、真打昇進、三代目柳家小満ん襲名。著書に『わが師、桂文楽』(平凡社)、『信号待ちで気が変わり』(北越出版)、『落語とおんな』(サンケイ出版)など。持ちネタ(噺)は約四百。昭和四十四年から東京・日本橋で催す「柳家小満んの会」は百八十回を超えている。品格のある正統派の噺家として、根強い人気がある。平成六年からは、横浜の会も奇数月に馬車道の関内ホール(小)で開いている。

## 会員便り

### 『金沢落語会』へどうぞ

現在、落語家の数は東西で五百から六百人といわれていますが、その中でも真打となると百五十人程度。その数少ない真打として三人の卒業生が活躍されています。プロ野球の選手が何人という高校は、甲子園常連校を中心によく聞きませんが、ごく普通の公立高校で真打の噺家が三人というのは、恐らく他に無いと思います(とりたてて誇るでもありません)。

落語研究部は昭和三十七年に同好会として発足し、一年後には部に昇格、最盛期は六十人もの部員を擁したこともありました(十六期生が入学した四十年頃、なぜか女子がやたら多かった?)。それがいつ頃消滅したか定かではありませんが、二十四期生ぐらいが最後ではないかといわれています。

夢丸、菊龍、のお二人はもちろん落研OBです。

落研発足時からしばらくの世代は、可楽(S39没)、金馬(39)、文楽(46)、志ん生(48)、圓生(54)、正蔵(57)、小さん等々の噺をリアルタイムで味わうことにかろうじて何とか間に合い、一方、志ん朝(S37真打)、柳朝(37)、圓楽(37)、談志(38)、圓鏡(40)、小三治(44)等々の若手の台頭も著しく、落語界は黄金時代という幸せな時期で、手引書は安藤鶴夫、江國滋、榎本滋民、興津要、矢野誠といったところ、学業などには脇目もふらず、落語一辺倒の楽しい高校生生活を過ごすことができました。

十二期生の卒業と同時にOB会が結成され、以来毎年、夏の合宿、忘年会を一度も欠かすこと無く、最近はずに二期から十七期の間の十人強が、家族ぐるみで初代顧問の青山先生を囲んで、飽きもせずニヤ話に興じています(仲間の親の通夜の後の酒の席も多くなりました)。

我が落研も指折り数えてみれば足掛け四十年。青山先生や石川先生ご存命のうちに記念の落語会を催すこととしました。きつと満足いただけることは間違いありません、ご来場をお待ちしております。

なお、かつて落研に籍を置いた方々へ: 金沢落語会終了後、OBの大懇親パーティーを予定しています。改めてご案内しますが、体調を整えておいてください。(十四期・村山正和)

# 金沢落語会

のお知らせ

金沢高校創立五〇周年記念・落語研究部創立四〇年記念

主催・落語研究部OB会  
後援・紫 朋 会

◆日時:平成十三年十月十三日(土)

◆場所:横浜教育文化ホール

(中区万代町一丁目、教育文化センター二階)  
JR関内駅南口下車すぐ、大通り公園脇

◆出演者:柳家 小満ん(八期四組 栗原 理)

三笑亭 夢丸(十二期三組 坂田 宏)

古今亭 菊龍(十九期九組 皆川 修)ほか

◆入場料:二、〇〇〇円(全席前売)

前売券は八月上旬から発売予定。取扱所・善利谷東四丁目「水車」(大きな木のそばのそばや、七八二五四一六、十六期高野)及び、杉田二丁目「中村社労士事務所」(聖天橋交番そば、七七三三三五)・十七期中村)。なお、金高祭においても発売予定(要予約・中村まで)。



小満ん



夢丸



菊龍



『野球部諸君 ありがとう』

明石 稔(十二期)

さて、先日(二千年夏)の金高野球の進出は、すばらしく、私も三日間ハマ・スタジアムに通いました。そりゃあ勝つ方がいいに決まってるが、及ばざるは過ぎたるより勝れり、涙と共にパンを食わなければ勝利の喜びはわからぬと言つように、敗けても次回に夢を持ち、いっしょけんめいやれば立派だと僕は思います。

山に例をとれば僕もいっばい経験あり、言い出せばきりがありませんが山をはじめた頃、新田次郎の『風雪の北鎌尾根』を読んで槍ヶ岳の北鎌登りに行つたけれど登れませんでした。懐に到達する事も出来ませんでした(渡渉が不可)。三回挑戦しましたがいまだに登れていません。北岳パトレスはあこがれて二十年目くらいにやつとの思いで登れた次第です。

空を飛ぶ夢は小学校四年の時にいだいて、きょう五十才にして実現したのだから四十年位かかりました(ヘリコプターの操縦免許取得)。でも涙と共に空を飛び喜び、頂上に立った時の感激は自分の青春の宝物で死ぬまで胸にかがやいています。

敗けた球児に右記のことを話したのですが、今は只、涙・涙…の連続で、あまりピンとこないようです。ただ泣いているばかりでした。僕もベンチから出てきた選手・応援団の諸君・チャアガルと共にいっしょに泣きました。でも決して甲子園は終わっていないと信じています。二〇〇一年甲子園の旅は明日からまた始まる事です。選手も、苦しみに耐えたとき、人間は強くなる事を決して忘れないと思います。

僕も、高校で(中学も小学校もそうだけど)勉強もせず、ただ遊んでばかりだったので人に偉そうなことを言える柄ではありませんが、つたない言葉・手紙でも彼らにわかってもらえると思って、きのう激励の手紙を書きました。こんな手紙を書けるのも私の至福の一時と自画自賛しています。

自分でやってみてはじめてわかる野球のつらさ、山も勉強も人生もすべてやってみて苦しさの判るのでしょうか。いっしょけんめいやることが大切です。

遅かりし由良之介、高年齢になってはじめて学問の喜びを少し感じてきました。数字・物理はまるつきり0点。なにがなんだか解らず、「こんなものやつたつてしょうがないや」



と思っていたのですが、いま新たに再び本を開いてみると、昔の定理・公理・公式が次から次へと出てきてびっくり。ピタゴラス、ベルヌーイ、コリオリの定理、ボイル・シャルルの法則だの、ある程度なんとなく理解して

いたつもりのものがまるつきり人の前では説明する事でせず、また中学からやり直ししました。目がかすんで字が見えにくい夜もやっているとノイローゼになりそうでしたが、試験に合格した時の喜びは僕の宝となりました。



「人生は遠き道のりを行くがごとし」で正にそのとおりと感しています。

山はもう体力がおとろえ、とくに精神力・感性がなくなりつつありますが、これではいけないとなるべく歩くようにしています。生徒に夢をいつまでも持とうと言つた以上は自分にもきびしくしなきゃズルイと自覚しています。がネ。

大きな喜びと感激をプレゼントしてくれた後輩諸君ありがとう。

(『A先生への手紙』より抜粋)

ハワイアンダンス カノエラニフラハラウ

(15期 田川正子)

大倉山スタジオ (月) PM 4:00~ 5:30  
(木) AM 10:00~11:30

三ツ境スタジオ (土) 第1・2・3  
初級 PM 5:00~6:30  
中級 PM 6:30~8:00

TEL&FAX 045-366-7329



不動産・会社・法人登記 供託手続・裁判所提出書類作成

司法書士 逸見浩輔(35期卒)

〒238-0006 横須賀市日の出町1丁目6番地 イケダビル3階

電話 0468-28-3025  
FAX 0468-28-3026

# 卒業生のお店紹介

## 『大将』

佐藤 恒男さん(十九期卒)

お店は「プララ杉田」2階にあります。京浜急行「杉田」駅東口から徒歩0分。会社帰りに途中下車しても余裕で行かれるお店です。

暖簾をくぐると、テーブル席。その奥にはくつろげる座敷もあります。

お店の特徴は、まず品数の多さ。おつまみメニュー80品目以上。飲み物色々、体にいいもの色々、お食事メニュー色々色々。体いいさらには、「ダチウガーリックバター焼」や、「うみがめの串あげ」、「コニニ肉ニラいため」など、ほかの店では食せないような、「びっくりメニュー」も取り揃えてあります。値段もお手ごろで、お腹いっぱい飲んで食べても安心できます。

また「大将」は、ランチタイムも営業しています。日替り定食は外税なしの650円。毎日5〜6セットのメニューを用意してあり、女性の方には「少々セット」というのが人気だそうです。それは何かとたずねますと、「一品ごとの量が多いのだそうで、少食の方は食べきれないからとのことですよ(特にチャーハンは男性でも)。」

なお、卒業生の方には、4名様のご来店までホワイトボードに書かれたメニューより一品サービス、8名様ご来店では2品サービスしていただけます。「それだけ」と粘りましたところ、「私の一本勝負で勝ったら、鏡

月」ボトル半額!」だそうです。

どんな勝負をするのか楽しみですね。まずは、あなたが勝負してみてください。

「ご主人からの一言

「当店は究極の浄水器ハイレールを使用しているの、水や氷も安心です。」

京急杉田駅下車「プララ杉田」2階

営業時間

ランチタイム 12:00〜14:00

居酒屋タイム 17:00〜23:00

定休日 祝日(日曜日は営業)

ランチタイムは平日のみ営業

電話 (771) 3574



## 『DINING BAR』

「月兎」(GET)

串崎 祐介さん(四十四期卒)

新杉田という田舎っぽい情緒を残しまくっている街に、一年前築き上げた店こそが、木の温もりをふんだんに感じることのできる「の店」こそが、そう、DINING BAR月兎です。DINING BARといっても、そんなにたかたかるところではなく、居心地のいい空間で、和風創作料理を、みんなが楽しい時間のすこせる、そんなのりのお店です。そこらへんの、よくある居酒屋ではどうして味わえない「至福の時」を用意して毎日翌朝五時まで営業しています。高校二・三年の二年間、かの有名な高木俊彦先生にスパルタ教育を受けた僕、串崎祐介が、大学四年間行ったにもかかわらず、皆様を「おかえりなさい」の気持ちを含めまくって迎えます。

営業時間 十六時半〜五時(翌朝)

電話 〇四五(七五)一九八〇

JR新杉田駅より約84秒、徒歩2分

## 「MENU」

- ・じゃこ梅の梅林チャーハン680円
- ・巻き鶏のしそパリッ。杉田風580円
- ・焼き鮪の漁師さん風サラダ780円
- ・その他つまみは280円

## 紹介して下さい

「卒業生のお店紹介」も回を重ねて参りました。この間、多数の方々のご協力をいただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

さて、創立五〇周年を迎えるにあたり、事務局では、「卒業生のお店大発掘」を計画しております。従来、飲食店を中心としておりましたが、自営業者・経営者として各分野で活躍されている方全てを対象といたします。紹介していただいた情報は、ご本人の了承を得た後、「自営業者一覧」として、「紫朋創立五〇周年記念号」に掲載させていただきます。

自薦他薦を問いません。同封のハガキに記入いただき、お送りください。よろしくお願いたします。

お悔やみ申し上げます

生嶋明先生(第四代校長昭和43年〜49年)が昨年九月に、古賀貞憲先生(第七代校長昭和54年〜61年)が十二月に御逝去されました。哀悼の意を表したいと思います。

お詫びと訂正

昨年45号で紹介しました「逸見浩輔さん」の卒業期が三十五期のところを間違って三十三期と表示されてしまいました。お詫び申し上げます。

アイデア商品・まごころサービスをお届けします

## フドーサービス 合資会社

代表 御 蘭 昌 人 (24期)

〒110-0016 東京都台東区台東1-9-4 松浦ビル5F

TEL 03-3833-3066-8 FAX 03-3832-2757

巾着式ゴミ袋「シューボン」、無煙万能「スフスロースター」

バイオ式防カビ、除菌、消臭、生ゴミ処理機

パソコン・インターネット講習、コンサルティング

特殊モルタル工事構築、材料販売

作業服・ユニフォーム オーダーメイド



TEZUKA ENT Clinic

院長 手塚 太一 (金壽 期生)

専用駐車場あり

〒 金沢区釜利谷東716

☎ 783-8780

FAX.045 783 8709

## 金沢高校創立50周年記念事業のお知らせ

いよいよ今年2001年、我が金沢高校は、「創立50周年」を迎えます。昨年の「紫朋」でもお知らせしましたが、紫朋会では、50周年記念事業実行委員会を組織して、学校、PTAなどと協力して、有意義な記念行事の実施に向けて準備をおこなってきました。また、記念事業のために会員の皆様に寄付をお願いをいたしましたが、多数の皆様からご寄付が寄せられました。どうもありがとうございました。

記念行事は、50年という大きな節目を祝うため、校内ではなく、横浜の中心地「みなとみらい地区」で下記のとりの日程で行うことになりました。会員の皆様の大勢の参加をえて盛大に行いたいと思います。皆様おさそいあわせて参加下さるようお願い申し上げます。

なお、お手数ですが、記念式典（演奏会）及び祝賀会の出席者を確認したいので、出席を希望される方は同封の葉書に御記入の上、送付してください。また、祝賀会に参加の方は、同封の郵便振込用紙（青色）により、会費を納入の上、お申込み下さいませようお願いいたします。（10月31日までをお願いいたします。お申込み頂いた方には、追ってご案内状を差し上げます。）

また、昨年、多くの方のご寄付を頂きましたが、さらに多くの方のご賛同頂きたく、趣意書を同封させて頂きました。ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。（寄付は、赤色の郵便振込用紙を使用して下さい。）

記

### 創立50周年記念事業

#### ・記念式典および記念演奏会

日時 平成13年12月8日（土）午後1時  
会場 みなとみらいホール（桜木町下車、みなとみらい地区）  
在校生、PTA会員、卒業生など400人以上の参加によるベートーベン第9交響曲「合唱」の演奏があります。

#### ・祝賀会

日時 同日午後5時から  
会場 パシフィコ横浜・アネックスホール（本年8月完成予定）  
会費 1万円  
内容 第1会場 母校50年のあゆみパネル展示  
第2会場 「世界の子供のため」日本ユニセフ協会キャンペーン  
第3会場 記念パーティー いろいろなアトラクションを計画しております。



## 金沢高校紫朋会 ホームページ開設！

金沢高校創立50周年記念事業の一環として紫朋会ホームページを開設いたしました。

21世紀IT社会の中で、なお一層の活動の充実を図ってまいります。

現在のところ、工事中がほとんどですが、会員の皆様からのご意見を積極的に取り入れ、内容を充実させたいと存じます。

まずはメールをお待ちしております。

ホームページアドレス  
<http://www.shihoukai.com>

※ホームページ作成メンバー同時募集



### 創立五〇周年に思う

二期 菅原 章丞

(創立五〇周年実行委員長)

二十一世紀を迎えた今年、母校金沢高校が創立五十年を迎えます。昭和二十六年四月、私たちが最初の生徒として入学し、(後に二年生が編入されたために、その人達が一期となって私たちは二期生となった。)校舎も運動場もなく、六浦中に間借りの学校生活から始まった三年間を今もはつきりと思ひ出します。あれから五十年、私たちも六十五歳、年齢的には高齢者の仲間入りをしてしまいました。が、十五歳の今年の入学生まで五十回の入学式が行われ、卒業生の数も二万人近くに達するという五十年の歳月とはすこいものだと思います。

私たち卒業生は、みんな金沢高校で三年間学んだという深いきずなで結ばれており、母校への愛着は決して消せないものです。高齢になるに従い、年々同期会が盛んになってきます。当日はみんな若やいで、十七、八の男の子、女の子の気持ちになってしまいます。これは同窓だからで、他の会合では決して見られないものです。

職場や仕事の上でも、相手が金高卒業と分かると特別な親しみを感じます。

昨年夏の高校野球予選で、母校の野球部がベストエイト進出という快挙がありました。私は、テレビで応援しましたが、多くの卒業生が球場にかけつけて声援を送ったと聞いています。しばらく卒業生の間で話題となりました。こういうことを見て、私たちは母校とのつながりを痛感してしまいます。

今年十二月八日、金沢高校五十周年を祝う会が開かれます。節目ごとの祝賀行事ですが、五十年というのは、母校の草創期に在籍した人たちの参加する最後のチャンスといえます。その人達から新卒の若い人まで、卒業生みんなが心を一つにしてこの五十周年を祝いませんか。皆さんのご参加をお待ちしております。

### 寄付のお礼とお願い

金高創立五〇周年を祝し、紫朋会では別紙趣意書にあるような各種事業を計画し、準備しております。そのために昨年より目標千五

### 金高50周年 紫朋会寄付 応募状況

平成十三年三月二十八日現在

期	人数	金額	目標額	期	人数	金額	目標額
1	1	¥10,000		26	12	¥82,000	¥200,000
2	61	¥572,000	¥700,000	27	9	¥65,000	¥200,000
3	37	¥410,000	¥700,000	28	9	¥72,000	¥200,000
4	76	¥795,000	¥700,000	29	15	¥123,000	¥200,000
5	42	¥424,000	¥700,000	30	14	¥84,000	¥200,000
6	22	¥190,000	¥700,000	31	17	¥128,000	¥100,000
7	19	¥146,000	¥700,000	32	7	¥21,000	¥100,000
8	29	¥299,000	¥700,000	33	11	¥73,000	¥100,000
9	19	¥178,000	¥700,000	34	9	¥53,000	¥100,000
10	25	¥195,000	¥700,000	35	5	¥28,000	¥100,000
11	11	¥88,000	¥550,000	36	10	¥64,000	¥80,000
12	18	¥169,000	¥550,000	37	9	¥58,000	¥80,000
13	21	¥168,000	¥550,000	38	4	¥24,000	¥80,000
14	22	¥210,000	¥550,000	39	3	¥15,000	¥80,000
15	15	¥88,000	¥550,000	40	7	¥60,000	¥80,000
16	18	¥163,000	¥500,000	41	3	¥22,000	¥50,000
17	14	¥113,000	¥500,000	42	10	¥57,000	¥50,000
18	15	¥124,000	¥500,000	43	5	¥35,000	¥50,000
19	8	¥48,000	¥500,000	44	1	¥3,000	¥50,000
20	7	¥78,000	¥500,000	45	3	¥9,000	¥50,000
21	10	¥69,000	¥350,000	46	4	¥24,000	¥50,000
22	11	¥68,000	¥350,000	47	4	¥14,000	¥50,000
23	10	¥55,000	¥350,000	48	9	¥50,000	¥50,000
24	13	¥139,000	¥350,000	職員	1	¥10,000	
25	12	¥83,000	¥350,000	合計	717	¥6,064,000	¥15,600,000

百万円の募金を皆様にお願ひしております。すでに七百名の方々から御応募いただきました。本来ならいちいち御礼申し上げます。紙面にて御礼申し上げます。なお、来年一月発行の「紫朋記念号」にて改めてごあいさつ申し上げます。また別表のように現在、目標の40%にとどまり、このままでは事業の完遂が懸念されます。なにとぞ御趣旨に御理解賜りますようお願い申し上げます。

紫朋会創立五〇周年実行委員会

### 募集 紫朋奨励賞

母校創立五〇周年を記念し同窓会では「紫朋奨励賞」を該当者に授与することを決めました。紫朋会会員で社会的に多大な貢献をしている、あるいはするであろうと思われる方々を表彰し紹介することを通して母校金沢高校ならびに紫朋会への感心をより高めることがねらいです。自薦他薦、いずれでもかまいませんが、特に幹事の方々は同期の中に該当者がいるかどうか調べられて、右記の目的が果たせられるようご協力をお願いいたします。

#### 募集要項

- 1、紫朋会会員であること。
- 2、社会的貢献をしている、もしくはするであろうと思われる者で、領域は特定しませんが、自薦他薦いずれも可。
- 3、応募の際には、本人履歴書ならびに推薦書と功績を証明できる文書を提出する。
- 4、応募期間は平成十三年八月末日までとする。
- 5、書類の提出をもって応募とみなします。
- 6、書類の提出先は、金沢高校、小林正先生宛とする。
- 7、授与決定は、選考委員会により十月末日までに郵送で本人に通知する。
- 8、授与式は、平成十三年十二月八日の記念祝賀会の席上で行う。
- 9、賞状ならびに賞金金一封を授与します。
- 10、該当者は、記念誌および次年度の「紫朋」に記事掲載し紹介します。

# 同期会クラス会便り

## 二期同期会

金井清子(旧姓 高橋)

平成十二年十一月十一日(土)午後二時、暑からず寒からずの大変恵まれた気候の下、母校(金沢高校)での再会でした。何十年振りにお会する顔触れが半数近く居り、昨年とは一味異った雰囲気盛りに上がりました。現校長常木巳喜雄先生が御臨席賜り、記念撮影のあと我々の学生時代とは様変りした校舎並びに校庭を外に出御案内下さいました。運動場に足を入れたとたん大歓声が起りました。昔懐かしの想い出が、走馬灯の様に一瞬皆な学生時代にタイムスリップし、生き生きと語り合った。あの辺かな、鋸校舎は……あの辺から山に上がつて応援の練習をしたとか、男性だけの秘密の基地があった様です。又運動の部活は重いローラを引いて地均しが済んでから活動開始の毎日だったわね等々……思いもよらぬ予定外の楽しい一時は、校長同期会にお誘い頂きまして、本当に有り難うございました。



先生のお計いのお蔭と幹事一同感謝いたし、同期会に華を添えて頂きました。本当に有り難うございました。

## 四期同期会

「ユーカー会」代表幹事 右城

大雪に見舞われた二〇〇一年一月二十七日(土)「ユーカー会」新世紀を祝う集いと銘打ってホテルリッチ横浜を会場として決行された。一月二十七日は旧暦一月四日に当り、二十一世紀のスタートを祝うには格好の日と設定であったが、まさかこんな大雪と重ならなくて……と恨みがましく思ったものだ。



朝から私の自宅には問い合わせやキャンセルの電話が引きも切らない状況が続き、その都度「九時過ぎには雪も止む」とのアメダスの前日予報を信じて一人ひとりに出席をお願いした席をお願したものの、内心では当初の予定六十名が最悪半分、上手く行つて四十名もあり得るかと思つて会場へ準備の為に飛び出した。時間は十一時、依然として雪は止むどころかますます勢いを増していた。二時を過ぎて一人、二人と仲間が集まり始めた。嬉しかった!! やつぱり仲間は有難い!! 前日一斉に出席予定者に電話攻撃をかけてくれたクラス幹事の協力には唯々感謝あるのみである。

恩師中村 久先生を交えて五十二名の顔が揃った!! 本心に涙が出るほど嬉しかった。

前回の開催から二年二ヶ月、この僅かな間に後日判明した人を加えると三人もの仲間が不帰の人となっているだけに笑顔での再会には一人感激したものだ。

## 二十期一年一組 クラス会

幹事 染谷・松坂・山本(全旧姓)

二〇〇一年八月二十六日(土) 横浜駅東口 崎陽軒にて午後六時から開催



猛暑の中、篠原信一先生はじめ二十期卒業一年一組の仲間二十五名が、幹事の思いつきに賛同し集まってくれました。(紫朋会に連絡すると、一年生の時のクラス会は前例がないと言われましたが。)三十年ぶりの再会に、受付の時には?の人々も各自の近況・自己紹介に、当時の恋の告白あり、先生に呼び出されたときのエピソードなど、少年・少女の頃のことが甦り話し尽きず、皆かなりの興奮状態で二次会へ。

好々爺(まだそんな年ではないとまた例の調子で怒鳴られるかも)になっておられた先生の大病された話を伺い、担任だった頃の今の私達よりかなりお若かったと知り驚きました。

## 二十四期六組クラス会

金澤 真司

平成十二年十月二十一日(土)さわやかな秋晴れの日、もみじ坂のマンダリンホテルに大黒先生を含む二十二名(男性十二名・女性九名)の参加で四年ぶりの同窓会を開きました。我がクラスはオリオンピクニックの年に同窓会を開くと言つ約束のもと、卒業以来続いていません。



今回は二十世紀最後の年でもあるので、ちよつと豪華にホテルでのコース料理(懐石風フランス料理)としゃれ込んで見たものの、三十分もするといつもの居酒屋パターンと化して、どこの席で誰の料理を食べているのかわからなくなりました。やはり我がクラスにはフランス料理は向かないみたいです。

そのままの勢いでカラオケボックスに突入しました。歌はやはりフォークソング(今で言うニューミュージックかな)歌とともに当時の事を思い出して、金高は自由でほんとうに楽しかったと……そして今、こうして同窓会に参加出来ることに感謝!

また、四年後オリオンピクニックの年に会いましょう。

# 平成十三年度事業計画

## 総会

「紫朋」発行

常任幹事会

新幹事歓迎会

ハイキングの会

舟釣りの会

金高祭への参加

リース教室

創立五〇周年記念行事・祝賀会

ホームページの開設

同期会・クラス会への補助

\*各行事の案内、参加申込みは、各担当者まで一報ください。

## 常任幹事会

第一回 四月八日(日)

第二回 九月九日(日)

第三回 一月二十六日(土)

各回 14:00~16:00

## 新幹事歓迎会

四月八日(日) 18:00~

## 総会

五月二十七日(日) 一ページ案内参照

## ハイキングの会

第十三回 六月九日(土)

丹沢・大山の南麓、養毛越から浅間山・高取山・善波峠をへて鶴巻温泉駅へ。最高地点の養毛越まで小一時間登ったあとは、ゆったりとした尾根筋をほとんど下りの低山ウォークが楽しめる。歩行時間約五時間。

集合 相鉄横浜駅急行ホーム 七時三十分  
又は小田急桑野駅改札口八時三十分

第十四回 十一月十八日(日)

中央線大月駅のすぐそばに岩肌をむき出している岩殿山。駅から整備された城跡や展望台をへて山頂まで約一時間。落城にまつわる悲話を秘める稚児落しの大岩壁や紅葉を楽しみつつ大月駅へ出る。歩行時間三時間四十五分。

集合 JR東神奈川駅 番線ホーム七時三十分

又は八王子駅中央線ホーム 八時三十分

大目駅 九時三十分

(ホームページはすべて前の方とします。)

参加希望の方には事前に詳しい計画書をお送りします。天候による変更もありますので事前に申し込んで下さい。

葉書又はFAXに卒業期・氏名・〒住所・TEL・十三回十四回の別を明記の上左記宛お願いいたします。五月二十七日の総会でも受け付け、計画書を差し上げます。

(申込先) 〒二三六〇〇一六

横浜市金沢区谷津町二七八

相川 勲(五期)

電話 ○四五(七八一)三七〇三

FAX ○四五(七八一)三七〇三

金高祭

九月二十九日(土)・三十日(日)

舟釣りの会

十月十三日(土) 7:30~15:30

高梨 修(十二期)

電話(七八一)一九二四

創立五〇周年ダンスパーティー

十月二十八日(日) 13:00~17:00

場所 金沢高校を予定しています。

会費 一、〇〇〇円

菅原 章丞(二期)

電話(七九〇)七九一〇

飯田 澄子(三期)

電話(七七三)五八四四

リース教室

十二月一日(土) 10:00~12:00

御園 昌人(二十四期)

電話(七七八)七一五五

創立五〇周年記念行事・祝賀会  
十二月八日(土) 8ページ参照



## 新幹事の紹介

今年度、四十九期生として新たに紫朋会の幹事となられた方々をご紹介します。  
創立五〇周年事業に積極的に参加していただき、今後の紫朋会を担う若き力として、先輩幹事一同応援したいと存じます。

- 1組 野本 圭裕 中島 美里
- 2組 平野 智史 安藤 妙子
- 3組 岡田 将樹 渡部あさみ
- 4組 有波 裕太 本城 聡美
- 5組 齋藤 雄大 金子 梨恵
- 6組 亀山 直人 林 佑季
- 7組 田仲 晋 二俣 文香
- 8組 石田 真人 神田 夕紀
- 9組 岩野 哲也 小野香保里

お写真の御用命は

# 八景写真館

電話 045-781-8044  
〒236-0022  
横浜市長谷区町屋町10-9

## Machintosh Art Work Office

ポスター/カタログ/パンフレット/チラシ広告/印刷物全般/企画・制作  
E-mail:ticchos@peach.ocn.ne.jp (自宅)



株式会社 ティ・アイ・シー  
代表取締役 帖佐 芳明 (21期生)  
〒144-0052 東京都大田区蒲田2-7-17 Tel.03-5711-1022 Fax.03-5711-1077  
E-mail:tic@cello.ocn.ne.jp

## 紫朋会 平成12年度決算報告

自 平成12年4月1日 至 平成13年3月31日

収入の部			
科 目	予 算	決 算	決算 - 予算
前年度繰越金	501,061	501,061	0
入会金	2,400,000	2,460,000	60,000
総会費	100,000	45,000	55,000
銀行預金利子他(郵便利子)	1,000	357	643
寄付金	2,000,000	1,500,000	500,000
雑収入	80,000	197,340	117,340
収 入 合 計	5,082,061	4,703,758	378,303

支出の部			
科 目	予 算	決 算	決算 - 予算
総会費	200,000	170,061	29,939
常任幹事会費	100,000	66,410	33,590
紫朋発行費	1,400,000	1,579,095	179,095
同窓会・部活動補助費	200,000	160,000	40,000
金高祭費	200,000	215,060	15,060
事務局活動費	400,000	300,332	99,668
郵送費	1,200,000	1,100,822	99,178
50周年記念事業積立金	500,000	0	500,000
金高生奨学金	240,000	120,000	120,000
在校生補助費	200,000	60,000	140,000
金高図書費補助	200,000	200,000	0
卒業生記念品費	70,000	58,537	11,463
予備費	172,061	0	172,061
支 出 合 計	5,082,061	4,030,371	1,051,744
残 高 合 計	(収入合計 - 支出合計) ¥673,441		

## 口座残高内訳( )

東京三菱銀行	0
横浜銀行	641,436
現 金	32,005
合 計	673,441

50周年記念事業積立金5,500,000円は、  
50周年実行委員会の会計へ繰入れ移行  
致しました。

## 紫朋会 平成13年度予算案

自 平成13年4月1日 至 平成14年3月31日

収入の部			
科 目	予 算	前年度予算	今年 - 前年
前年度繰越金	673,441	501,061	172,380
入会金	2,400,000	2,400,000	0
総会費	100,000	100,000	0
銀行預金利子	1,000	1,000	0
寄付金	2,000,000	2,000,000	0
雑収入	80,000	80,000	0
収 入 合 計	5,254,441	5,082,061	172,380

支出の部			
科 目	予 算	前年度予算	今年 - 前年
総会費	200,000	200,000	0
常任幹事会費	100,000	100,000	0
紫朋発行費	1,600,000	1,400,000	+ 200,000
同窓会・部活動補助費	400,000	200,000	+ 200,000
金高祭費	200,000	200,000	0
事務局活動費	700,000	400,000	+ 300,000
郵送費	1,200,000	1,200,000	0
50周年記念事業積立金	0	500,000	- 500,000
金高生奨学金	240,000	240,000	0
在校生補助費	200,000	200,000	0
金高図書費補助	200,000	200,000	0
卒業生記念品費	70,000	70,000	0
予備費	144,341	172,061	- 27,720
支 出 合 計	5,254,441	5,082,061	172,380

## 編集後記

先日、スリランカと台湾へ旅行に行ってきた。知合いの家にお世話になり、何から何まで面倒を見て頂いたのだが、毎日出される食事には少々閉口してしまつた。食べる食べると勤めてくれるのだが、スリランカのそれは常に辛く、台湾のは濃い。胃がもたれて、本来大食の私もそうそう箸が(スリランカでは手)が進まなかった。辛すぎず濃すぎず、まるみのある味。「やっぱりこれじゃ」と思いつつ、味噌汁をすすする今日この頃である。

(小堀・村杉)

本文九ページに掲載されています「寄付のお礼とお願ひ」を御覧いただけたと存じます。五〇周年まであと半年余りとなりましたが、いまだ寄付の応募状況は40%とどまっております。会員の皆様の御協力なくしては、五〇周年記念事業は成功致しません。是非とも御協力よろしくお願ひします。特に19期から48期までの皆様、また今年卒業され新たに紫朋会員となられた49期の皆様よろしくお願ひします。なお、寄付の御協力をいただきました皆様には「紫朋五〇周年特別記念号」をお送りします。

(事務局一同)

## 五〇周年記念号広告募集

金沢高校創立五〇周年記念事業の一環として、通常の「紫朋」とは別に「紫朋五〇周年特別記念号」を発行いたします。

四〇周年記念同様、卒業生の皆様から紙面広告を募集いたします。同時に広告取材スタッフも併せて募集いたします。

ご希望の方は、同封のハガキにご記入の上、ご返送ください。よろしくお願ひいたします。